

電気通信事業部事業政策課 担当者様

昨日、国内の「光ファイバー」敷設に関し意見を述べさせていただきましたが、少し視点を変えて理由を追加させていただきます。

NTT の光ファイバー敷設は、既設の集合住宅居住者や老人だけの世帯では電話回線を光ファイバーに替えることが困難であったり望まれない可能性が高いと考えられますので、これらの人々にはメリットとならず逆に邪魔者扱いされて嫌な思いをすることが懸念され、また現在 ISDN や CATV を家庭に引くことのできない状況にある「どちらかと言えば情報弱者」が期待している ADSL を使えないようにしてしまいます。しかも、NTT の光ファイバー敷設によって寧ろ不利益を被るこれらの世帯は「無視できない数」にのぼるのではないかと思うのです。

一方、既設の電話回線を光ファイバーに置き換えるという発想のない企業や団体の光ファイバー敷設であれば、直接に不利益を被る世帯が生ずるということはなく、光ファイバーを必要とするところが幾ばくかの負担金を払って利用するというのは国益にかなうことと思う次第です。

以上、二度にわたる素人の戯言で御面倒をおかけいたしまして、恐縮に存じております。

氏名 : 古田 剛